

# Hamagin mini Report



Bank of Yokohama

## トップメッセージ

横浜銀行 代表取締役頭取 寺澤辰磨

特集

### もっと便利に。もっと身近に。

— 地域に根ざした銀行として —

- 東日本銀行との経営統合によりできること
- お客さまの資産をまもるために
- 法人のお客さまの企業価値向上のために
- 地域の活性化のために

横浜銀行 2015年9月期ミニ・ディスクロージャー誌





お客さまに対する最高の金融サービスの提供を通じて、地域の発展とともに企業価値の向上を目指し、信頼される金融グループとして、活力ある未来の創造に貢献します。

2015年12月

代表取締役頭取 寺澤辰磨

皆さまには、日頃より横浜銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

横浜銀行は、地域のお客さまのお役に立つことで信頼され選ばれる銀行となること、および地域経済の中核的担い手として、地域の課題に対して金融サービス機能を活用したソリューションをご提案して地域社会の発展に貢献することをめざしております。そのため、地方創生に積極的に取り組むとともに、地域活性化の糧となる中核企業の成長や企業価値向上を支援しています。

横浜銀行は、2015年度中間期決算において、過去最高となる405億円の間純利益を計上するなど、中期経営計画で定めた目標に向けて着実に取り組み、中長期的に安定した経営基盤を確保しております。さらに、お客さまにより高度な金融サー

ビスをご提供するため、東日本銀行と経営統合を行うことといたしました。12月21日の臨時株主総会において、株式移転方式により、来年4月1日に両行の共同持株会社「株式会社コンコルディア・フィナンシャルグループ」を設立することを株主の皆さまにご承認いただきました。

コンコルディア・フィナンシャルグループの経営理念は、「グループ各社の強みと特色を活かし協働することにより、お客さまに対する最高の金融サービスの提供を通じて、地域の発展とともに企業価値の向上を目指し、信頼される金融グループとして、活力ある未来の創造に貢献します」です。商号の「コンコルディア (Concordia)」は、ラテン語で調和・協調を意味し、両行がお客さまのために「こころをあわせて」取り組んでいくという熱い想いを込めています。

新グループは、地域金融機関としてお客さまとの深いリレーションを保ち、経営統合による広域ネットワークを最大限活かした幅広く質の高い金融サービスや地域情報を提供することにより、頼られる金融グループをめざします。個人のお客さまには、1都6県にまたがる両行の店舗網およびATMがご利用いただけるほか、東京都内へ新たに設置する店舗や、東京都内で共同開催する資産運用セミナー等がご利用いただけるようになります。法人のお客さまには、両行の持つ幅広い金融商品やサービスをご利用いただけるほか、グループ全体の資金仲介能力の向上により、より円滑なご融資を実現することができます。また、両行のお客さま同士のビジネスマッチングやM&Aのサポート、産業調査やコンサルティング等のシンクタンク機能を活用したサービスなど、両行ならびにグループ会社が持つ情報やノウハウを活用したサービスもご利用いただけるようになります。

経営統合後も、横浜銀行は、引き続き地元である神奈川県に軸足を置き、新店舗や営業拠点、人材等へ投資を続けることで企業価値を高め、これまで以上に質の高いサービスをお客さまにご提供いたします。お客さまのニーズにいち早くお応えし、地域経済の発展に貢献できる金融機関であることをめざして努力してまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 中期経営計画 Tackle for the Dream (2013年4月～2016年3月)

長期ビジョン実現に向け、「磐石な営業基盤」を拡大・深化させ、「強靱な経営基盤」を維持・強化していく3年間

### 長期ビジョン

お客さま、株主、行員、地域社会にとって  
魅力あふれる金融機関

2015年度における目標指標		2015年度上期実績
個人メイン先数*	250万人程度	<b>236万人</b>
役員取引等利益比率 (連結)	22%程度	<b>25.4%</b>
当期純利益ROE (連結)	7%程度	<b>8.4%</b>
当期純利益RORA (連結)	0.8%程度	<b>1.17%</b>
普通株式等Tier1比率 (連結)	11%程度	<b>12.44%</b>
OHR (単体)	40%台後半	<b>48.2%</b>
与信関係費用比率 (単体)	0.15%程度	△ <b>0.05%</b>

※「個人メイン先数」は、当行を中心にご利用いただいているお客さまの数（当行定義）。



# もっと便利に。もっと身近に。

－ 地域に根ざした銀行として －

## 東日本銀行との 経営統合によりできること



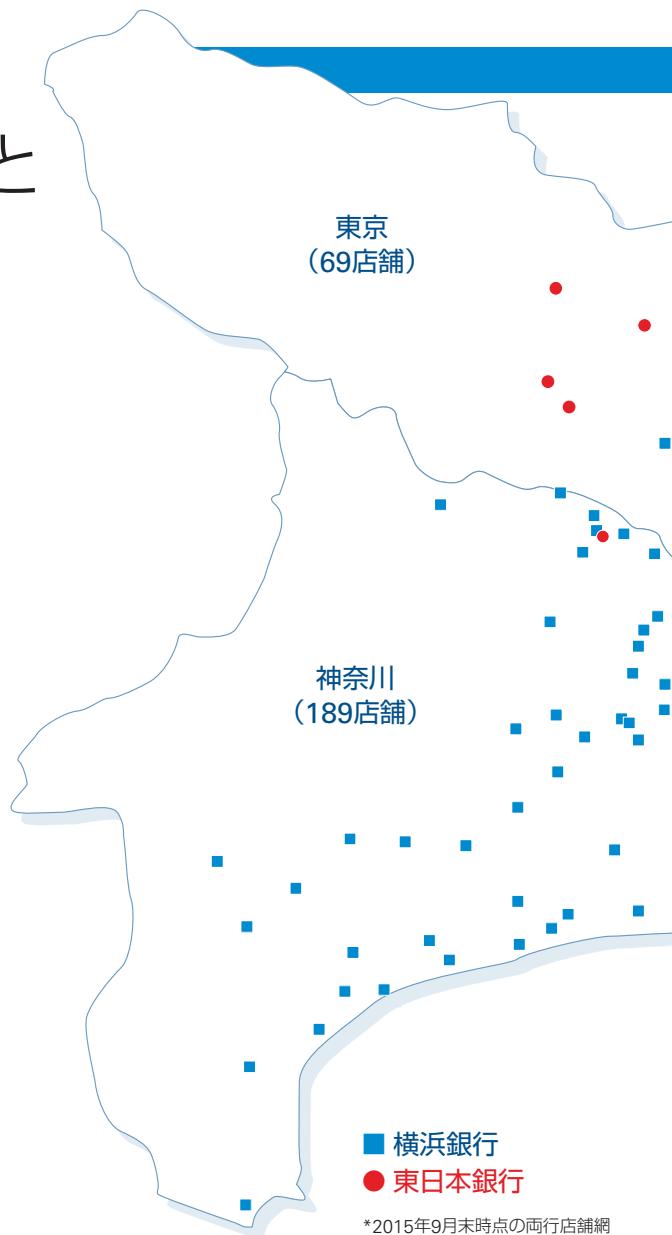
その1  
店舗・ATM網が拡大します!

2015年9月末現在、横浜銀行の国内店舗は205か店、ATMコーナーは405か所ですが、これに東日本銀行の国内店舗82か店とATMコーナー1か所が加わり、さらに新たな店舗を東京都内に設置することでネットワークが拡大し、より便利にご利用いただけます。



その2  
ビジネスマッチングなどの機会が広がります!

首都圏を中心としたさまざまな情報を活用できるようになり、ビジネスマッチングやM&Aなど、これまで以上に多様なサービスをご提供し、お客さまの成長をサポートします。



## 1都6県の広域ネットワーク



その3  
さらなるサービス向上に投資します!

経営統合に伴う共同化・効率化により削減したコストを、サービス向上のための投資に振り向けることで、お客さまの多様なニーズにお応えしていきます。





# お客さまの資産をまもるために

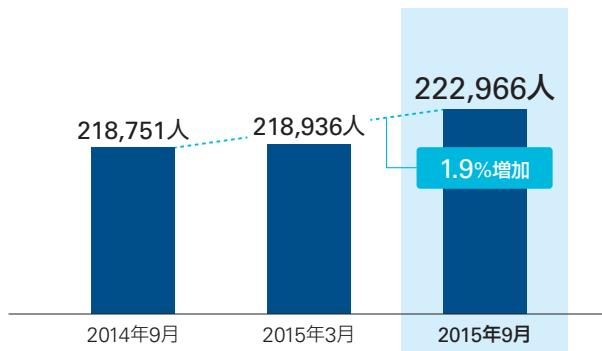
お客さまとの接点を増やし、地域とのリレーションを強化するため、支店長が自らお客さまを訪問し、お客さまのお役に立つご提案をしています。



## お客さまの最適なポートフォリオ形成のサポート

分散した資産で安定的なリターンを狙う「コア運用商品」と、相場上昇時に収益性を追求する「サテライト運用商品」を組み合わせたご提案をすることで、お客さまの最適なポートフォリオ形成をサポートしています。

投資型商品をご提供しているお客さま数



## 相続や信託による資産承継の支援

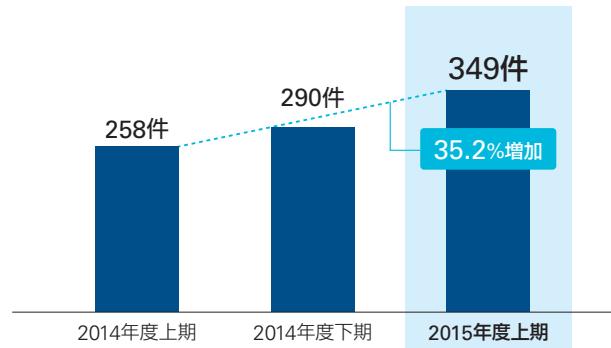
高齢化社会に対応し、お客さまの資産を引き継ぐニーズにお応えするため、相続サポートセンターに相続専用フリーダイヤルを開設したほか、個人信託の取扱店を国内全店に拡大するなど、お客さまの相続をご支援する態勢を強化しています。

相続手続きに関するご相談はこちらへ

〈はまぎん〉  
相続手続きデスク  **0120-458-077**

電話受付時間 銀行窓口営業日の午前9時～午後4時

### 相続・信託関連業務の成約件数

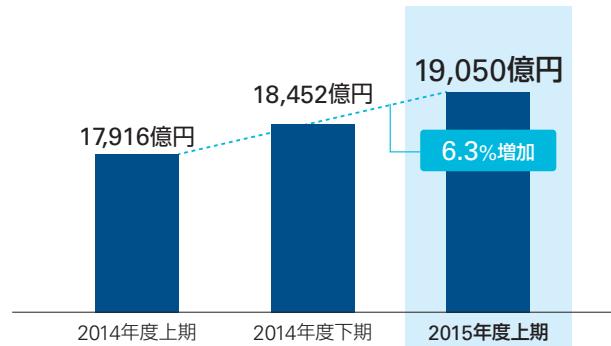


## 不動産有効活用のご提案

本部に配置している高度な知識を持つフィナンシャルコンサルタントを増員し、外部専門家と連携しながら、タックスプランニングや不動産の有効活用などをご提案するコンサルティング営業に取り組んでいます。

※資産家向け融資（当行定義）＝アパートローン＋大型フリーローン（収益物件等）＋資産管理会社向け融資

### 資産家向け融資平均残高



# 法人のお客さまの企業価値向上のために

法人のお客さまの事業の内容や成長可能性などを評価し、ソリューションをご提供することで、お客さまの成長と企業価値の向上をご支援しています。

このため、法人担当者の目利き力強化や、コンサルティング能力の向上に取り組んでいます。

## 事業性評価への取り組み

研修・コンテンツの強化



- 役職者を含む法人渉外全担当者に対して、集合研修、休日セミナー、ビデオコンテンツ配信をおこない、事業性評価への理解・浸透を促進しています。

対象企業の分析



- お取引先企業の経営者とのディスカッションを実施し、経営課題を共有します。
- 地域経済活性化支援機構（REVIC）などの外部機関の知見も活用しながら、事業環境の分析や市場動向の調査をします。

戦略の方向性策定



- 分析結果にもとづき、経営戦略の方向性について経営者とディスカッションを実施します。

ソリューションの提供



- 企業のライフステージに応じたソリューションをご提供します。

ソリューションの一例

人事面：人財マネジメントに関する経営コンサルティングサービス  
営業面：アフターサービスの強化、手数料ビジネスの強化

## 企業のライフステージに応じた支援態勢



### TOPICS

2015年10月に地域の未来を支える創業者をサポートするため、「創業支援デスク」を設置しました。創業期のお客さまに対する資金調達のご相談のほか、各自治体の創業支援に関する情報をご提供しています。



もっと **便利** に。もっと **身近** に。 - 地域に根ざした銀行として -

# 地域の活性化のために

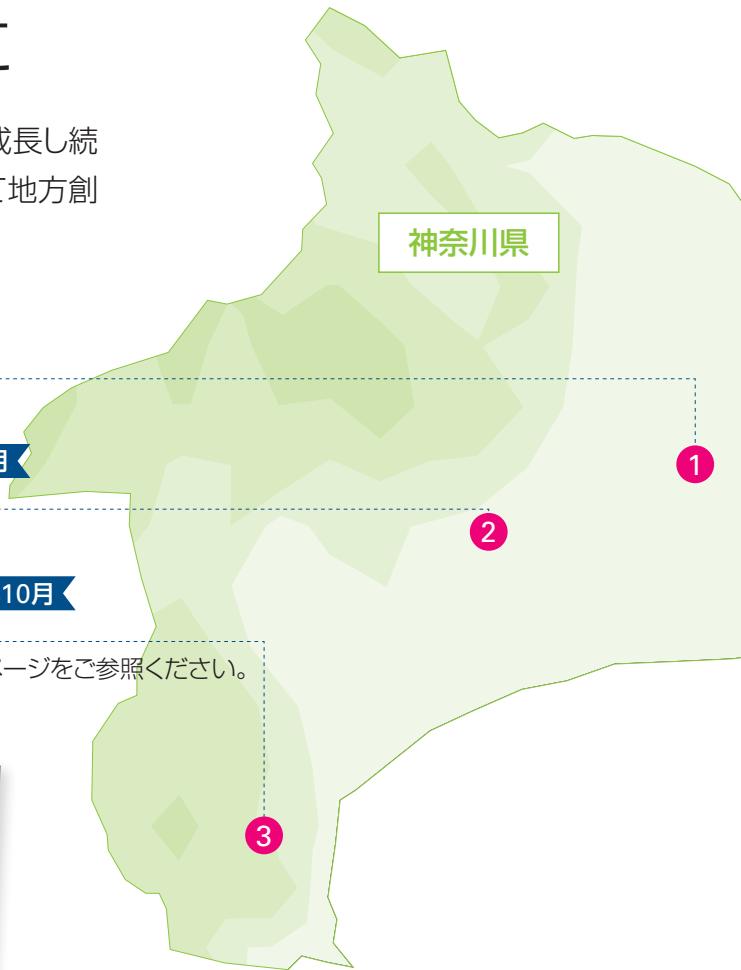
横浜銀行は、地域の皆さまとともにこれからも成長し続けるため、地域に根ざしたさまざまな活動を通じて地方創生に向けた取り組みを進めています。

海老名駅前支店をオープン! **2015年9月**

秦野市と企業立地等の支援における相互協力に関する協定を締結! **2015年10月**

“箱根を感じるキャンペーン” を実施中!  
定期預金を預けて箱根を満喫! **2015年10月**

→2016年3月31日(木)まで。詳細は横浜銀行ホームページをご参照ください。



“横浜銀行サッカー教室”を開催! 2015年5月

神奈川県知事や神奈川県にゆかりの深い企業9社のトップとともに

“かながわ女性の活躍応援団”を結成! 2015年11月

横浜市と企業立地等の促進に関する協定を締結! 2014年10月

横浜DeNAベイスターズ

“YOKOHAMA STAR NIGHT”へ特別協賛! 2015年8月

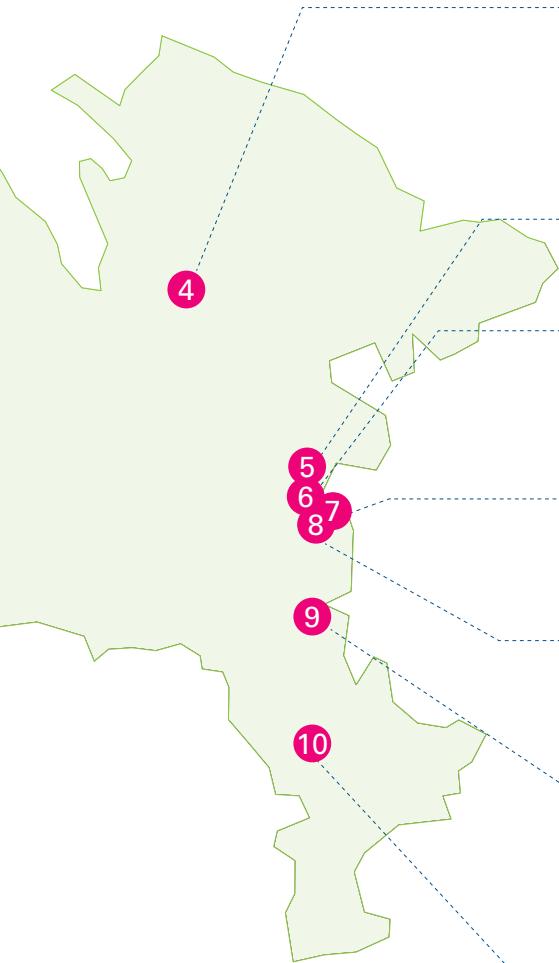
神奈川スケートリンクのオフィシャルパートナーに!  
“横浜銀行アイスアリーナ”としてリニューアルオープン!

2015年12月

“はまぎん子ども宇宙科学館チケット  
プレゼントキャンペーン”を実施中!  
→2016年3月31日（木）まで。詳細は横浜銀行ホームページをご参照ください。

2015年11月

湘南国際村めぐりの森で植樹活動に参加! 2015年5月



## 損益の概況(単体)

(単位: 億円)

	2014年度 上期	2015年度 上期	前年同期比
<b>業務粗利益</b>	<b>1,027</b>	<b>1,027</b>	<b>0</b>
国内業務部門利益	1,008	1,005	△ 3
資金利益	773	767	△ 6
役務取引等利益	210	225	15
特定取引利益	1	1	0
その他業務利益	22	11	△ 11
国際業務部門利益(外貨建部門)	18	21	3
<b>経費(△)</b>	<b>506</b>	<b>495</b>	<b>△ 11</b>
(参考)OHR(業務粗利益経費率)	49.2%	48.2%	△ 1.0%
うち人件費(△)	221	225	4
うち物件費(△)	253	234	△ 19
<b>実質業務純益</b>	<b>521</b>	<b>531</b>	<b>10</b>
一般貸倒引当金繰入額(△)	△ 33	-	33
<b>業務純益</b>	<b>554</b>	<b>531</b>	<b>△ 23</b>
臨時損益	△ 43	62	105
うち不良債権処理額(△)	36	△ 27	△ 63
うち株式等関係損益	0	45	45
<b>経常利益</b>	<b>510</b>	<b>594</b>	<b>84</b>
特別損益	△ 4	△ 2	2
法人税等合計(△)	172	186	14
<b>中間純利益</b>	<b>333</b>	<b>405</b>	<b>72</b>
<b>与信関係費用(△)</b>	<b>2</b>	<b>△ 27</b>	<b>△ 29</b>

## POINT

 **業務粗利益**

国内資金利益および国内その他業務利益が減少したものの、国内役務取引等利益が増加したことから、前年同期と同額となりました。

 **経費**

預金保険料が減少したことを主因に、前年同期に比べ11億円減少しました。OHR(業務粗利益経費率)については、前年同期に比べ1.0%ポイント低下の48.2%となりました。

 **与信関係費用**

お取引先の経営健全化支援に積極的に取り組んだ結果、前年同期に比べ29億円減少し、与信関係費用比率△0.05%とともに過去最低水準となりました。

 **経常利益**

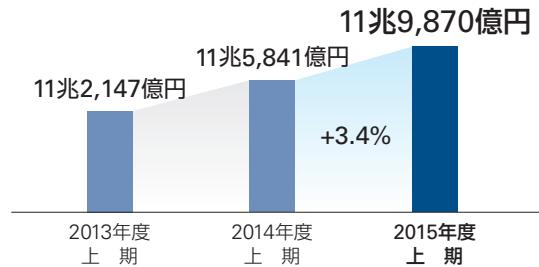
実質業務純益の増加に加え、与信関係費用の減少および株式等関係損益の増加もあり、前年同期に比べ84億円増加し、過去最高益となりました。

 **中間純利益**

経常利益の増加に加え、法人税率等の引下げに伴う法人税等の減少などにより、前年同期に比べ72億円増加し、過去最高益となりました。増益は6期連続です。

## 預金(平均残高)(単体)

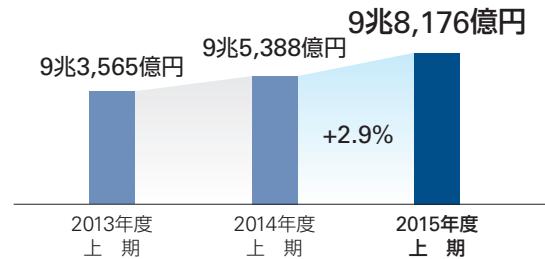
お客さまとの接点拡大・取引の深化に取り組んだ結果、個人預金、法人預金ともに順調に増加し、前年同期に比べ4,029億円増加しました。



※特別国際金融取引勘定を除く国内店分

## 貸出金(平均残高)(単体)

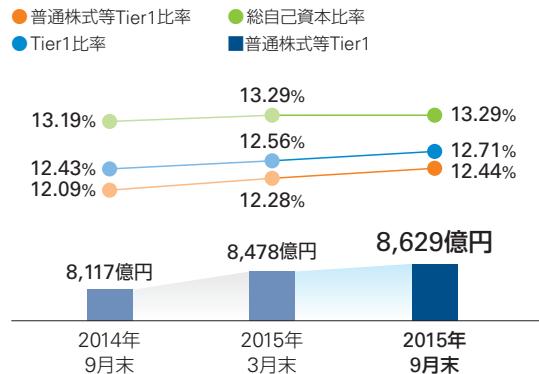
中小企業向け貸出が増加したことに加え、アパートローンなどの個人向け貸出も増加したことから、前年同期に比べ2,788億円増加しました。



※特別国際金融取引勘定を除く国内店分

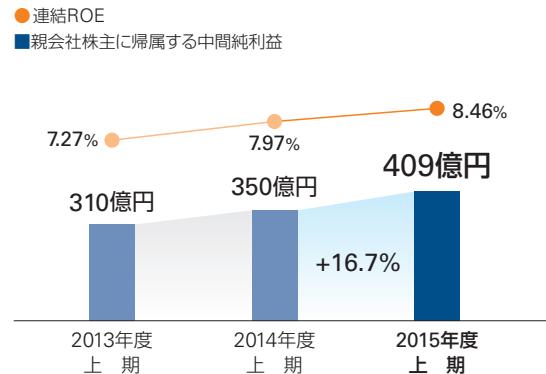
## 自己資本比率(連結)

普通株式等Tier1比率は、利益の積み上げにより、前年度末に比べ0.16ポイント上昇し、資本の質はいっそう向上しました。



## 親会社株主に帰属する中間純利益(連結)

単体中間純利益の増加を主因に、前年同期に比べ59億円増加し、過去最高益となりました。増益は6期連続です。また、連結ROEは、前年同期に比べ0.49%ポイント上昇しました。



## 利益還元方針

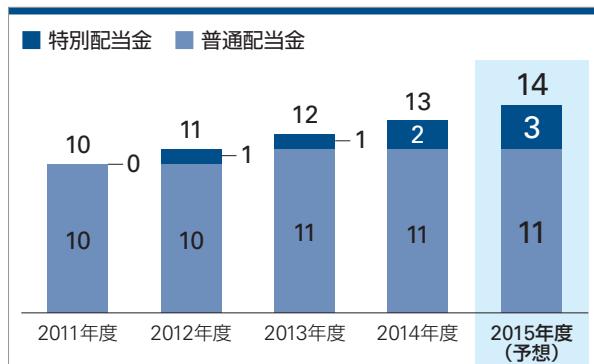
中期経営計画期間中（2015年度まで）の利益還元方針	
普通配当	普通配当金として業績にかかわらず年11円を安定的にお支払いいたします。
機動的な自己株式取得	市場動向や業績見通しなどを勘案のうえ、機動的に自己株式の取得を実施してまいります。
特別配当	年度の連結当期純利益（※）が550億円を上回る場合には、特別配当を実施いたします。

（※）連結損益計算書における「親会社株主に帰属する当期純利益」。

経営統合後の新金融グループの株主還元方針については、現状の横浜銀行の還元スタンスを踏襲していく予定です。

### 1株当たり年間配当金の推移（単体）

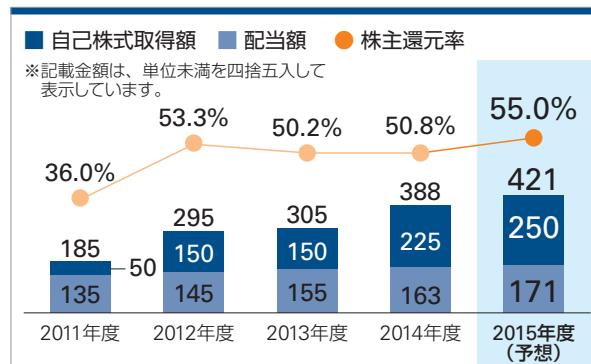
単位：円



4年連続で配当金は増加する見込みです。

### 株主還元額の推移（連結）

単位：億円



親会社株主に帰属する当期純利益（連結）に対する自己株式の取得と配当を合わせた金額の比率である株主還元率は、4年連続で50%を超え、55.0%となる見込みです。

### 横浜銀行の株価の推移

単位：円



## 投資家の皆さまへの説明会の開催

個人投資家や機関投資家の皆さまを対象とした説明会を開催し、経営陣が横浜銀行の業績や成長戦略、利益還元方針などについてわかりやすくご説明しています。

横浜銀行へのご理解を深めていただくとともに、投資家の皆さまとの双方向のコミュニケーションをはかることで、ご意見を経営に活かしています。



今後のスケジュールについては、横浜銀行ホームページをご覧ください。

<http://www.boy.co.jp/shareholder/irevent/calendar.html>



### 広報室長からの メッセージ

Hamagin Mini Reportをお読みいただきありがとうございます。  
今回は、皆さまに横浜銀行を「もっと便利に。もっと身近に。」感じただけのような内容をお届けしました。

さて、横浜銀行が発行するHamagin Mini Reportは今回が最後となり、今後は持株会社のコンコルディア・フィナンシャルグループとして発行することになります。

長い間ご愛読いただき誠にありがとうございます。持株会社移行後も変わらぬご愛顧をお願いいたします。

経営企画部広報室 室長 村田 直子



## PROFILE

名称	株式会社 横浜銀行 The Bank of Yokohama, Ltd. (英語表記)
創立	1920年12月16日
本店所在地	神奈川県横浜市西区 みなとみらい3丁目1番1号
総資産	15兆1,333億円 (単体) 15兆3,078億円 (連結)
預金	12兆 175億円 (単体) 11兆9,838億円 (連結)
貸出金	9兆9,190億円 (単体) 9兆8,749億円 (連結)
資本金	2,156億28百万円
発行済株式総数	1,254,071千株
総自己資本比率	13.29% (連結ベース：国際統一基準)
従業員数	4,776人
拠点数	615 国内 610 (本支店 197、出張所 8、 ATMコーナー 405) 海外 5 (支店 1、駐在員事務所 4)

(2015年9月30日現在)

## 株式のご案内

### 株式事務取扱場所

(2015年6月20日から株主名簿管理人が変更になりました)

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

(特別口座の  
口座管理機関) 日本証券代行株式会社

同事務取扱場所 日本証券代行株式会社 本店

(郵便物送付先)  
(電話お問い合わせ先) 〒168-8620  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
☎ 0120-707-843

### 各種お手続きについて

住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取増請求などのお手続きは以下のとおりとなります。

- 一般口座 (証券会社の口座) に記録された株式  
お取引の証券会社にお問い合わせ願います。
- 特別口座 (日本証券代行の口座) に記録された株式  
上記の日本証券代行までお問い合わせ願います。

※未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店および三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 公告方法

電子公告 ([http://www.boy.co.jp/k\\_t/koukoku.htm](http://www.boy.co.jp/k_t/koukoku.htm))  
ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、  
日本経済新聞に掲載いたします。



ID:@boy0138

横浜銀行 SNS 公式アカウント

地域イベントなどの情報を配信中!



<https://www.facebook.com/OfficialBankofYokohama>



横浜銀行

発行

横浜銀行 経営企画部広報室  
〒220-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-1 TEL (045) 225-1111 (代表)  
インターネットホームページ <http://www.boy.co.jp/>

2015年12月